

2021年2月9日

農福連携サポーター育成事業とUNEの取り組み

認定・特定非営利活動法人UNE

代表理事 家老 洋

今回のノウフク・アワード2020の受賞については、全国でも名だたる団体15の末席に加えて貰ったこと驚くと共に大変喜んでます。

13年前胎内市で「農業分野における障がい者就労の促進」テーマにフォーラムを開催し、全国に先駆けて農福連携を提唱、その後群馬の近藤龍良さんと一緒に全国各地の農政局で農福連携のネットワークの立上げに携わったことを誇りに思っています。

しかし、昨夏に開催の農林水産省主催のノウフク講座に参加、9月に自ら農福連携サポーター養成講座を開講して、今、ノウフクを進める上で様々な疑問、課題に直面しています。

今回のフォーラムの資料づくりで日本農業、そして障がい者福祉の実情を統計的に分析するにつけ「農福連携」推進よりも10年後の日本農業の存続が心配になりました。

ここ10年の農家戸数の激減、農業の担い手の高齢化、農業所得の低迷、農業経営体の法人化が未だ進んでいない、そして魅力のない農業への新規参加はなかなか進まない等、日本農業の抱える課題は、40年前、私が大学で学んだ時に比べ、救う術が無い位大変な現状であることを確信しました。今後10年で弥生時代から始まった日本農業は絶滅し、中山間の里山集落も消滅してしまうのではないかと大いに懸念しています。

しかし、それを解決する一つの手段が「農福連携」であるように思ってきました。

日本の福祉は障がい者福祉、高齢者福祉、児童福祉というように社会的に弱者を助けることに特化していますので、きっと農福という福祉が瀕死の日本農業を助けてくれること期待しています。

UNEはこれから現場でノウフクを実践し、ノウフクを通じて大声で「里山救済・日本農業存続」を叫び続けたいと思います。

UNEが目指すノウフクジョブ！

1. UNEのこれまで

UNEはNPOで、障がい者、生活困窮者、そして高齢者などのしごとづくりを通して地域の維持、継続を目指しこの4月で設立して丸10年になります。

現在UNEは、障がい者の居場所である地域活動支援センターUNEHAUSの運営をはじめ、農作業、採取作業、管理請負作業、講演、イベント、給食、農泊、どぶろく製造、酒販など13もの事業を展開していますが、これら多種の事業を実施している目的は、何時、誰が来ても何かすることが出来る。手伝うことが出来る。自分の好きな仕事、やり甲斐を感じるしごとを選択することが出来る「しごとの百貨店」を目指して活動しています。

2. 里山を取り巻く社会情勢

都会では大勢の人々が集まり、障がい者や生活困窮者等の社会的弱者と云われる方々は、仕事にはありつけますが、生きづらく、孤立し、肩身の狭い思いをされている方が少なくありません。

一方、地方の里山は過疎化、高齢化が進み、これまで基幹産業であった農林業は衰退し、集落の維持すら難しくなるくらい人が居なくなり、あと10年で無くなってしまふ集落も少なくありません。

機械化、過疎化、高齢化が進展したことで、昔大勢でやっていた田植えや稲刈りは一人作業が主流となりました。その為、それまで培われてきた農業技術、農業の伝統などは、今の若い世代に伝承されることなく、今の担い手である高齢者の方々に途絶えてしまふ危機に直面しています。

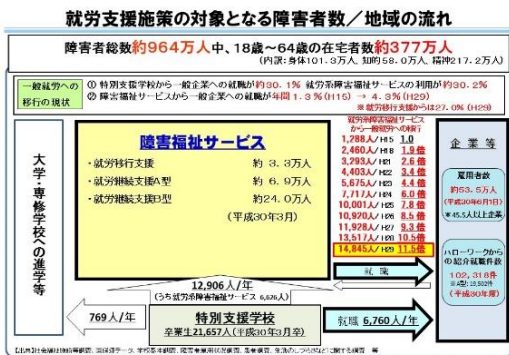
それらを途絶えさせることなく、障がい者や生活困窮者等の社会的弱者と云われる方々と一緒になって、次世代にバトンタッチしていくことがUNEの役割と思っています。

人手が足りない今、ドローンやAI等を駆使して省力化、効率化を目指しているのが社会の趨勢ですが、UNEは、出来るだけ大勢で楽しくやれる「しごとの創出」を目指します。

### 3. ノウフクの対象者

厚生労働省の統計によればと現在1,000万人もの障がい者がおり、その内、生産年齢である18才から65才までで在宅している障がい者数が377万人、就労継続支援B型事業所の利用者24万人を含めた400万人、そして引き籠もり者(生活困窮者)や触法者(法を犯した人)などがノウフク分野で活躍する可能性がある対象者であると考えています。

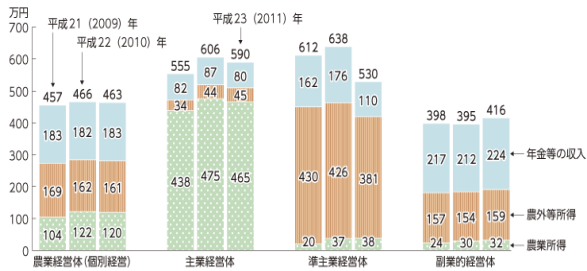
それらの方々が農業分野で安心して活躍できる環境を整えることがUNEの目指すノウフクであると考えてます。



全国の平均的農家の年間農業所得は120万円との統計が出ています。月額ですと10万円、週30時間、月120時間で割り戻すと833円/時、新潟県の最低賃金(831円)になります。

つまり今の新潟県の平均的農家は、最低賃金で働いているパート労働者ということになります。

図3-4-6 主副業別の所得の推移



### 4. 作業の見える化

米価をはじめとする農産物価格が低迷している中、農業だけでは食って行けないのが現状ですが、障害年金や生活扶助費、そして国民年金などを貰って

方々にとっては、工夫すれば農業から得られる工賃と合せることで生活することは可能かと思えます。

現在の障害年金(2級で約65千円)、国民年金(65千円)、生活扶助費(約6万円)は6万円強です。よってこれに5万円を加え11万円になれば、田舎の古家を活用した住宅での生活は可能かと思えます。

UNEの目指す月額工賃を50,000円(20日間)と定め日額2,500円、一日5時間働くとした場合、時給500円を稼げるしごとおこしがUNEの目標です。

### 5. 採取事業の取り組み

これまでやってきた既存の作業を切出し障がい者のしごとを創出することが今のノウフクの主流です。

しかし、現在UNEが実施している稲作や野菜作は前述した通り、土地改良や機械化されていない生産・労働環境等の整備が不十分な中で農作業で500円の工賃を稼ぎ出すのは至難の業です。

種を撒き肥料や薬を上げ育てるのではなく、縄文時代、縄文人が取り組んでいた採取・狩猟こそが里山地域に立地し、誰でも携わることができ、資本投下が不要な、そして自然の変化や獣害にも対応出来る新たなしごとであると考えてます。

近年、UNEが取り組始めたのが、山にあるものを採取し薬品、薬用会社等に販売する事業で、クロモジ、ヨモギ、そして笹などを大勢で効率良く採取し、目標工賃を稼ぎ出せる作業として新年度も事業の拡大をすべく計画しています。

### 6. ノウフクレート：工賃単価

UNEでは各種作業について日報を作成しています。

令和2年度		作業計画		記録		人員		収入		従事者		内容		備考	
No	月日	作業開始	終了	時間	人数	単価	合計	種別	人数	内容	備考	備考	備考	備考	備考
1	4月9日	14:30	15:30	1	4	4	16	田舎、田舎、田舎	4	千秋ふも田舎 除草					
6	5月9日	14:00	15:00	4	1	4	16	田舎、田舎、田舎、田舎	1	大沢入よもぎ田中耕、除草					
7	5月11日	9:30	11:30	2	2	4	16	田舎、田舎	2	田舎、田舎、中耕					
8	5月17日	9:00	12:00	3	3	9	16	田舎、田舎、田舎、田舎、田舎	3	千秋ふも田舎田舎、中耕					
9	5月18日	13:30	15:00	1.5	4	6	16	田舎、田舎、田舎、田舎	4	田舎、田舎、田舎、田舎					
10	5月19日	9:00	11:30	2.5	5	12.5	16	田舎、田舎、田舎、田舎、田舎	5	千秋ふも田舎田舎 430株、除草120株					
11	5月25日	14:00	15:00	1	2	2	16	田舎、田舎	2	大谷内クワ田舎					
12	6月2日	14:30	15:00	0.5	1	0.5	16	田舎	1	大谷内田舎田舎 (原農委入準備)					
13	6月3日	11:10	11:40	0.5	1	0.5	16	田舎	1	地域振興局長7人対応					
14	6月19日	14:00	16:00	2	2	4	16	田舎、田舎	2	ハウスロープ作り、清掃					
15	6月20日	14:30	15:00	0.5	2	1	16	田舎、田舎	2	千秋ふも田舎田舎田舎、田舎					
16	6月26日	14:00	15:00	1	2	2	16	田舎、田舎	2	ハウスロープ作り					
17	7月2日	9:30	11:30	2	9	18	16	田舎、田舎、田舎、田舎、田舎、田舎、田舎、田舎、田舎	9	千秋ふも田舎田舎田舎					

日報には、作業時間帯、活動時間、人員、延人時間、従事者等を記載します。事業終了後、売上、経費が確定した時点で、以下の計算式でノウフクレートを算出します。

(総売り売上額－※経費) ÷ (延人時間)

※経費：人件費、減価償却費等は除く

#### 7. ノウフクメンバー：作業仲間

UNEの作業は1人ではなく、可能な限り大勢でやることを目的とし、具体的には、職員+ボランティア(障がい者、生活困窮者、高齢者等)で行います。

職員は、まず、それぞれのボランティアが得意とするような作業を割り振りし、そして作業状況に併せながら臨機応変に役割を見直し指示します。そして大勢での作業が、安全、正確、スムーズ、そして楽しくやることを算段するのが職員の任務であると規定しています。

職員は、大勢の作業仲間：ノウフクメンバーで、より高いノウフクレートを達成するかが評価されます。

ノウフクメンバー＝総人員 ÷ 作業階数

今年度実施した採取の作業は以下の通りです。

#### ◎笹作業

☆ノウフクレート＝564円

(総売上額：110,895円－経費：2,640円) ÷ 延人時間：192人時間

☆ノウフクメンバー＝6.8人

総人員：81人 ÷ 延作業回数：12回

☆作業の内容

6月7日～11日までの5日間集中的に実施しました。UNEに通うボランティアと集落の婆ちゃん達から手伝って貰いました。



笹の選別作業

#### ◎ヨモギ作業

☆ノウフクレート＝1,304円

(総売上額：733,363円－経費：11,786円) ÷

延人時間：554人時間

☆ノウフクメンバー＝3.8人

総人員：304人 ÷ 延作業回数：79回 =

☆作業の内容

作業期間は4月9日の畑の除草から始まり、中耕、草刈、苗取り、ハウスづくり、収穫、乾燥、裁断、出荷、追肥、植え込み等の作業をしました。

収穫は職員ボランティア総出で対応、管理・調整作業については、ボランティアが中心に対応しました。



ヨモギの収穫・調整作業

#### ◎クロモジ作業

☆ノウフクレート＝1,227円

(総売上額：306,097円－経費：9,877円) ÷

延人時間：241人時間

☆ノウフクメンバー＝5.0人

総人員：105人 ÷ 延作業回数：21回

☆作業内容

クロモジの落葉が始まる11月12日に採取を開始、その都度結束作業を行い、1ヶ月後の12月12日出荷しました。山に出掛けての収穫、UNEHAUSへ持ち帰っての結束作業が主なもので、職員とボランティアで対応しました。出荷は職員ボランティア総出で行いました。



クロモジ収穫作業



### ◎稲作、野菜作

稲作、野菜作部門に関してのノウフクレートは、経費が総売上げを上回る状況で、ノウフクレートはマイナスでした。

今後、具体的な改善策を実施するか？或いは事業を止めてしまうか？地域農業を守るという役割を考慮しながら新年度の計画に頭を痛めています。



2020年9月撮影



2017年9月撮影

### 8. 目標

ノウフクレート：500円以上、ノウフクメンバー：2.0以上を「ノウフクジョブ」として認定し、4月から3月まで継続してノウフクジョブができるよう算段することがUNEのこれからの目標です。

### 9. ノウフクの重点

ノウフクのひとつのテーマは生産性の向上ですが、作業実施で大切なことは、まずは安全、完成度（きれい、正確、确实）、そしてスピードです。

もう一つノウフクにおいて重要なこと考えているのが「皆で楽しくやれる」ことです。

楽しいか否かは従事された皆さんからの感想を聞いた上で判断しなければなりません、従事者の健

康管理のためにも、しっかりした休憩（タイミングと長さ、場所）、楽しい休憩（茶菓の摂取、個々の状況確認）を取ることが大切です。



「福祉・市民体験農園」

加えて、無駄のない、出来るだけ楽な姿勢での作業、そして従事者の特性を考慮した作業分担等を作業リーダーが算段することが重要です。また、無駄な作業、不要な経費支出を抑えることも大切なことです。

積極的に器械、道具の活用、治具の開発、そして複数でやることでの効率アップなどを考えながらの作業が大切です。場合によっては特殊な器械を製造することも必要かと思えます。



特製クロモジ枝裁断器

限られた人員、時間、資源ですので事前に詳細な作業計画を立て、そして当日の状況（作業者の健康状態、気象条件、人員配置）などをしっかり理解した上での算段、作業指示が重要となります。

### 【終わりに】

里山でUNEが目指すノウフクを実現することで、お互い支え合い、誰もが安心して安全に楽しく、そして誇りをもって生きられるコミュニティを創造することを目指し、これから10年がんばって行きたいと思えます。

感謝！